

履歴書、研究業績書記入要領

【共通項目】

- (1) 年号は、すべて西暦で記入して下さい。
- (2) 文体は、MS明朝 10.5 ポイントを基本として下さい。
- (3) 各欄が不足するときは、適宜行数を加えて下さい。

【履歴書】

- (1) 氏名は、戸籍上の氏名を記入して下さい。通称名を使用する場合は、() 内で補記して下さい。
- (2) 年齢は、満年齢で記入して下さい。
- (3) 写真は、3 カ月以内に撮影した証明写真を使用し、写真の裏には必ず氏名を記入して下さい。
- (4) 末尾の「以上、相違ありません。」に署名・押印して下さい。

【学歴】

- (1) 高等学校又はこれらと同等以上と認められる学校の卒業以上の学歴を、すべて記入して下さい。
- (2) 大学院（新制）の博士課程を出て、まだ博士号を取得していない場合は、「博士課程（後期課程）単位取得満期退学」（「博士課程（後期課程）中途退学」、「博士課程（後期課程）単位取得退学」）と記入して下さい。
- (3) 大学院（新制）の博士課程を出ると同時に博士号を取得した場合（課程博士）は、「博士課程（後期課程）修了」と記入して下さい。
- (4) 大学の別科、専攻科及び研究生、聴講生等を記入して下さい。

【学位】

- (1) 学位名の後に論文題名を記入して下さい。
- (2) 取得機関名を記入して下さい。

【職歴】

- (1) すべてを記入し、在職期間、職名及び地位等も記入して下さい。
- (2) 無職の期間についても必ず記入して下さい。
- (3) 現職については（現在に至る）と明記して下さい。
- (4) 現在の職務の状況を記入して下さい。

【学会及び社会における活動等】

- (1) 所属学会名を記入して下さい。
- (2) 役員等を務めた場合は、役職名と就任期間を記入して下さい。

【研究業績書】

※共通事項

新しい年月順（現在→過去）に記入して下さい。

【研究上の活動に関する事項】

- (1) 学術論文、著書・訳書等、学会発表、その他
 - ①研究業績とみなされるものに限り記入して下さい。
 - ②学術論文、著書・訳書等、学会発表等を、(学術論文)、(著書・訳書等)、(学会発表)及び(その他)の別にグループ化して、記入して下さい。(刊行が予定されているものも含まれます。)

学術論文、著書・訳書等の場合は、記載された頁を記入して下さい。

- ③学術論文は、逐次刊行物に掲載されたもの、及び著書であっても当該者が「共著者」、「共編者」として明示されていない著書に収録されているものとします。

また、査読の有無についても記入して下さい。

- ④「博士論文」は、著書として刊行された場合は「単著」と記入して下さい。

- ⑤著書は、単行本として刊行されたものとします。

- ⑥共著の場合は、自身を含めた共著者名をすべて備考欄に記入して下さい。(共著者数が非常に多い場合は、主要著者名他〇名と記入してもよい。また、自分の氏名には、アンダーラインを付して下さい。)

(2) 外部資金獲得状況

科学研究費助成事業以外の公的資金、他の研究機関等との外部資金についても記入して下さい。

[教育上の能力に関する事項]

(1) 教育方法の実践例

優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取り組み、講義内容の web 上での公開 等

(2) 作成した教科書、教材

作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要(「学術論文、著書・訳書等」との重複も可。その場合「(再掲)」と表示)

(3) 当該教員の教育上の能力に関する大学等の評価

- ①各大学での自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実(その事由と評価内容)
- ②採用決定の際等における教育上の能力に関する評価
- ③学生による授業評価、教員同士の相互評価等をまとめたもの
- ④学外の評価機関等が行った評価
- ⑤上記以外で、学長、学部長、学内諸機関等が行った評価(客観性を持ったものについて記載)等

(4) 実務家教員についての特記事項

- ①大学から受け入れた実習生に対する指導歴(看護・福祉実習、企業実習等)
- ②企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等の概要
- ③その他、所属機関や関係機関等において行った講義、講習、職員・関係者等に対する指導、海外等における留学、調査研究経験等

(5) その他教育上の実績における特筆すべき事項

- ①大学教育改善に関する団体等での活動の概要
- ②教育実績に対する受賞歴、研究助成歴 等

[職務上の実績に関する事項]

(1) 資格、免許

資格について、担当する教育の内容に関するもの等について記載して下さい。医師、弁護士、公認会計士、教員等の資格についても記入して下さい。

(2) 特許等

本人の担当する教育内容等に関連した事項について記載して下さい。

(3) 実務家教員についての特記事項

実務経験の記載方法については、「職歴」欄に記入した事項を中心に、担当する授業科

目に対応した下記の事項を参考に記載して下さい。

①従事した期間

②職務の内容（どのような職務について、どのような役割を果たしたか。）

③成果、結果

○企業・官公庁等の研究者の場合

- ・開発した新製品・製法、作物等の新品種などの概要
- ・大学との共同研究による研究実績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割

○その他、企業・団体等関係者

- ・国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績

○情報技術者関係の場合

- ・コンピュータに係る職務歴（職務上のコンピュータ活用法、ソフト・システム開発歴）

○マスコミ関係者の場合

- ・執筆した記事の概要
- ・作成した番組の概要

○医師や看護師等医療技術者の場合

- ・症例研究会での発表等の活動

○臨床心理、福祉その他社会的活動の関係者の場合

- ・参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位

○スポーツ等実技関係者の場合

- ・指導者としての経歴・実績・資格

○芸術関係者の場合

- ・作品の概要
- ・展覧会出品歴
- ・受賞歴

○博物館、美術館等関係者の場合

- ・担当した展覧会の概要
- ・執筆・監修した展覧会図録の概要

(4) その他職務上の実績における特筆すべき事項

大学発ベンチャー企業設立等の(1)から(3)に該当するもの以外の事項について幅広く記載して下さい。